

デジタル田園都市国家構想交付金  
及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業実施報告

資料 1 - 1

1. 事業の概要

事業名	B i z を中心とした地域内チャレンジ促進事業
計画期間	令和 2 年度～令和 6 年度（5 カ年）
総事業費 (うちデジタル 田園都市国家構 想交付金及び地 方創生応援税制 適用の寄附額)	170,823 千円 (デジタル田園都市国家構想交付金：85,411 千円) (地方創生応援税制適用の寄附額：10,000 千円)
全体事業の概要	本市の地域企業の稼ぐ力（付加価値）を向上させ、地域経済や課題解決を担うプレーヤーを増やすため、地域の支援力を強化するとともに、地域外の人材スキルを企業経営に導入する仕掛けづくり、さらに創業を促進させるための機会創出や、地域内への創業誘導施策の実施等、様々な施策を一体的に展開する。
事業の内容	<p>&lt;地域企業の活力発揮に向けた支援強化&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. チャレンジの支援拠点「B i z」の開設・運営</li> <li>2. 地域外（都市部）の人材と、地域の「仕事」とのマッチング</li> </ol> <p>&lt;地域に新たな仕事を生み出すための支援&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. B i z による支援</li> <li>4. 創業のチャレンジ機会の創出</li> </ol> <p>&lt;地域内における消費機会の多様化を目指した支援&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 空き店舗情報の集約・発信の工夫</li> </ol> <p>&lt;住民満足度の向上を目指した地域課題の解決主体の育成&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. B i z と行政の連携による地域課題解決主体の育成</li> </ol>

## 2. K P I（重要業績評価指標）

年 度	R 2	R 3	R 4	最終年度目標値
B i zにおける相談件数	1 4 7 件	8 1 1 件	8 4 1 件	令和6年度に1,100件
事業による女性・シニア層の創業相談件数	8 件	3 3 件	1 5 件	令和6年度に46件
事業による創業の実現割合（創業件数/創業相談件数）	1 6 . 6 %	2 8 . 0 %	0 %	令和6年度に40%
事業によって生まれた地域課題解決分野の新規事業件数	0 件	0 件	0 件	令和6年度に5件

※K P Iは「地域再生計画」の数値で、総合戦略のものとは異なる。

## 3. 事業経費の内訳

計画名	事業内容	経費内訳
Bizを中心とした地域内チャレンジ促進事業	1. 中小企業支援センター運営費（委託）	1. 委託料 30,726,257円
	2. 空き店舗情報サイト作成業務（委託）	1. 委託料 990,000円

## 4. 事業の成果および今後の方針

担当課	成果および今後の方針
産業観光課	<p>令和3年2月末にセンターを開設し、プレオープン期間（計10日間）を含め、令和4年度末までに1,799件の相談に対応した。相談件数は順調に増加しており、メディアやSNSによる認知度の向上、良い印象を受けた相談者からの口コミ、その他PR活動の成果と考えられる。</p> <p>相談では、丁寧なヒアリングによって事業者の課題把握に務めた。継続的な相談利用により、事業者の売上向上に向けた戦略策定や戦術の実行を伴走支援していく。</p> <p>開設3年目は創業にまで至る支援こそできなかったものの、引き続きセンターの周知や成果事例の発信に努め、創業者や未利用事業者等の利用を促すとともに、他の支援機関との連携推進や、地域での創業実現・事業継続に向けた取り組みを行っていく。</p> <p>関連事業として空き店舗情報サイトも開設しており、Bizとも連携しながら、市内での創業につながる支援を行っていく。</p>

1. 事業の概要

<p>事業名</p>	<p>D i g i 田さかいで再生プロジェクト</p>
<p>計画期間</p>	<p>令和4年度～令和6年度（3カ年）</p>
<p>総事業費 (うちデジタル 田園都市国家構 想交付金)</p>	<p>174,180千円 (デジタル田園都市国家構想交付金：87,090千円)</p>
<p>全体事業の概要</p>	<p>本市の資源や強みを最大限に活かし、暮らしの満足度向上と、まちのイメージ転換を図る施策によって、「働くまち」と「住むまち」が両立できるまちづくりがポイントとなる。「住むまち」には、日々の暮らしの中で、満足感や幸福感を感じられるような「場所」「空間」「機会」がいかに多く存在するかが重要であり、若い子育て世代をターゲットとする他、多様な世代が日常的に集い交流し、幸せを実感できるような居場所づくりを行う。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>&lt;暮らしやすいまちの実現&gt;                  ① 人工土地の歩行者空間を、中心市街地に位置するオープンスペースとして人々が集い安らげる場所となるよう広場および周辺の歩行者空間の整備を行う。                  ② 整備した歩行者空間に面した人工土地1階の空き店舗において、「チャレンジショップ」を開設する。</p> <p>&lt;市民によるまちづくりの推進&gt;                  ③ 坂出駅周辺活性化整備計画に意見を反映するため、高校生や大学生によりワークショップを行う「さかいで未来会議」を設置するとともに、関連する分野の有識者などで構成する「さかいで地域再生会議」を設置する。                  ④ 坂出駅周辺活性化整備計画作成などの事業において、専門的な知見と経験を活かし、より効率的かつ効果的な事業推進を図るため、地方創生アドバイザーを導入する。                  ⑤ 都市基盤整備の基礎調査、市民アンケート調査、市民ワークショップ等から、市民の要望や現状を把握し、坂出駅周辺活性化整備計画を策定する。                  ⑥ 本事業の成果について、従来手法のパンフレット等の広報だけではなく、SNSを活用するとともに、YouTubeによる動画配信を行い、市民や関係者に向けて、広く周知する。</p> <p>&lt;官民連携の推進&gt;                  ⑦ 施設の整備にあたり、民間企業のノウハウや資金支援を含めて官民連携となるPPP/PFI法を検討し、機能や効果を最大限に高め、市民の満足度や行政の効率化を図るため、PPP/PFI手法導入優先的検討規程の作成と庁内での的確な運営体制の構築に向けた事業実践研修を行う。</p>

## 2. K P I（重要業績評価指標）

年 度	R 4	最終年度目標値
坂出駅周辺におけるイベント回数	24回	R6年度に16回
チャレンジショップの応募件数	0店舗	R6年度に5店舗
市民ワークショップの参加人数	26人	R6年度に60人
PPP/PFI手法導入優先的検討規定の運用件数	0件	R6年度に1件

※K P Iは「地域再生計画」の数値で、総合戦略のものとは異なる。

## 3. 事業経費の内訳

計画名	事業内容	経費内訳
D i g i田さかいで再生プロジェクト	さかいで未来会議・さかいで再生会議の設立・運営	報酬 189,900円 旅費 295,760円
	地方創生アドバイザーの導入	委託料 2,387,000円
	坂出駅周辺活性化整備計画の策定（アンケートおよび整備方針作成費）	委託料 7,007,000円

## 4. 事業の成果および今後の方針

担当課	成果および今後の方針
公民連携・DX推進課	<p>さかいで未来会議（高校生ワークショップ）を10回、さかいで再生会議を4回開催したほか、まちづくりアンケート（一般、高校生）および市外居住者アンケートによる、本市の課題や市民の意見などをふまえ、坂出駅周辺再整備基本構想を策定し、まちづくりの方向性を定めた。</p> <p>また、基本構想の策定に合わせ、地方創生アドバイザーを導入し、坂出駅周辺再整備における官民連携手法の整理を行い、中心市街地活性化公民連携事業実施方針を策定した。</p> <p>その他、坂出緩衝緑地再整備計画策定に向け、坂出緩衝緑地の未来を考えるワークショップを2回（全3回）開催し、幅広い年代の方々から意見を伺った。</p> <p>今後は、坂出駅周辺再整備基本構想をもとに市民や民間事業者など、多様な主体との連携や協働により、持続可能なまちづくりを行う。</p>